

## チャレンジ！！オープンガバナンス 2019 市民／学生応募用紙

地域課題タイトル (注1)	No. 2_3/3_2	タイトル 公共交通で豊かなまちづくり	自治体名 八戸市
アイデア名(注2) (公開)	時刻表をよりよくしていこうの会		

(注1) 地域課題タイトルは、COG2019 サイトの中に記載してあるエントリー自治体(連合)が掲げる地域課題を記入してください。

(注2) アイデア名は各チームが応募されるアイデアにつけるものです。アイデアにふさわしい名前を付けてください。

### 1. 応募者情報

チーム名(公開)	鈴木とみんな		
チーム属性(公開)	<input type="radio"/> 1. 市民によるチーム <input checked="" type="radio"/> 2. 学生によるチーム <input type="radio"/> 3. 市民、学生の混成によるチーム		
メンバー数(公開)	5名		
代表者情報	鈴木 悠斗		
メンバー情報	氏名(公開)	越後 咲慧	
		斉藤 護	
		畑内 純玲	
		高橋 さくら	

**(注意書き) ※ 必ず応募前にご一読ください。**

<応募の際のファイル名と送付先>

1. 応募の際は、ファイル名を COG2019\_応募用紙\_具体的チーム名\_該当自治体名にして、以下まで送付してください。東京大学公共政策大学院の COG2019 サイトにある応募受付欄からもアクセスできます。 admin\_padit\_cog2019@pp.u-tokyo.ac.jp

<応募内容の公開>

2. アイデア名、チーム名、チーム属性、チームメンバー数、代表者と公開に同意したメンバー氏名、「アイデアの説明」は公開されます。
3. 公開条件について：

「アイデアの説明」でご記入いただく内容は、クリエイティブ・コモンズの CC BY (表示) 4.0 国際ライセンスで、公開します。ただし、申請者からの要請がある場合には、CC BY-NC (表示-非営利) 4.0 国際ライセンスで公開しますので、申請の際にその旨をお知らせください。いずれの場合もクレジットの付与対象は応募したチームの名称とします。

(具体的なライセンスの条件につきましては、<https://creativecommons.org/licenses/by/4.0/legalcode.ja>、および、<https://creativecommons.org/licenses/by-nc/4.0/legalcode.ja> をご参照ください。また、クリエイティブ・コモンズの解説もあります。<https://creativecommons.jp/licenses/>)

4. 上記の公開は、内容を確認した上で行います。(例えば公序良俗に違反するもの、剽窃があるものなどは公表いたしません)
5. この応募内容のうち、「3. 自治体との連携」は、非公開です。なお、内容に優れ今後の参考になりうると判断したものは、公開審査後アドバイスの段階で相談の上公開することがあり得ます。

<知的所有権等の取扱い>

6. 「アイデアの説明」中に、応募したチームで作成・撮影したものではない文章、写真、図画等を使用する場合、その知的所有権を侵害していないことを確認してください。具体的には、法令に従った引用をするか、知的所有権者の許諾を取得し、その旨を注として記載してください。「自治体との連携」中も同様をお願いします。
7. 「アイデアの説明」中に、人が写りこんでいる写真を使用している場合、使用している写真に写りこんでいる人の肖像権またはプライバシーを侵害していないことを確認してください。

<チームメンバー名簿>

チームメンバーに関する情報を最終ページに記載して提出してください。（2. の扱いによる代表者氏名を除き、他のメンバーに関する情報は本人の同意があるものを除き COG 事務局からは非公開です。詳細は最終ページをご覧ください。）

## 2. アイデアの説明（公開）

(1) アイデアの内容、(2) アイデアの理由、(3) 実現までの流れ、の三項目に分けて記入してください。

必要に応じて図表を入れていただいて結構です。

### (1) アイデアの内容（公開）

アイデアは、課題解決のために、何をやる社会的なサービス（活動）なのか、をわかりやすく示してください。これが将来実現した場合、魅力的で新規性があり、実践したり、活用したくなる、そしてその結果として、課題が解決される、そんなワクワク感のあるアイデアを期待します。2ページ以内でご記入ください。

<応募チームとして解決したい課題>

バスの利用者減少

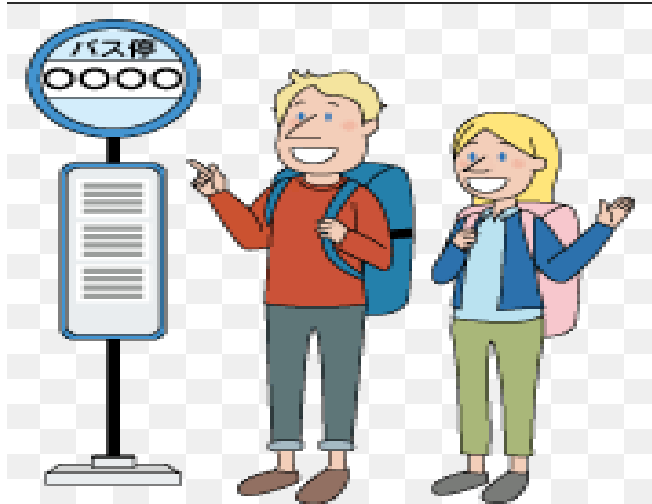
<解決アイデアの内容>

バスを利用する時に見る時刻表を、わかりやすく、簡単に使えるようなアプリを制作する。

<アンドロイドアプリの制作>

「機能」

- ・目的地を入力すると最適な行き方が表示される。(どのバスか、何時に来るのか、どこを経由するのか、料金はいくらか、など)



[https://www.pref.wakayama.lg.jp/bcms/prefg/000200/kenmin/web/201710/img/tokusyuu3\\_3.gif](https://www.pref.wakayama.lg.jp/bcms/prefg/000200/kenmin/web/201710/img/tokusyuu3_3.gif)

県民の友10月号 | 和歌山県ホームページ引用

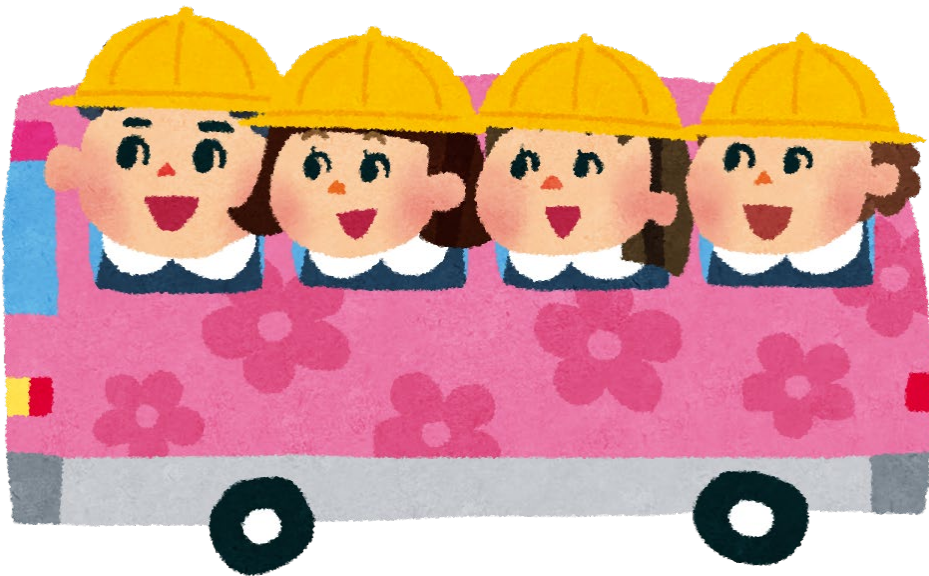
- ・海外からの観光客に向けて  
外国人向けの英語や多数の言語を追加する。



<http://view-net.org/wp/wp-content/uploads/ear.jpg>

アイマスク体験 ～見えない状態で見よう引用

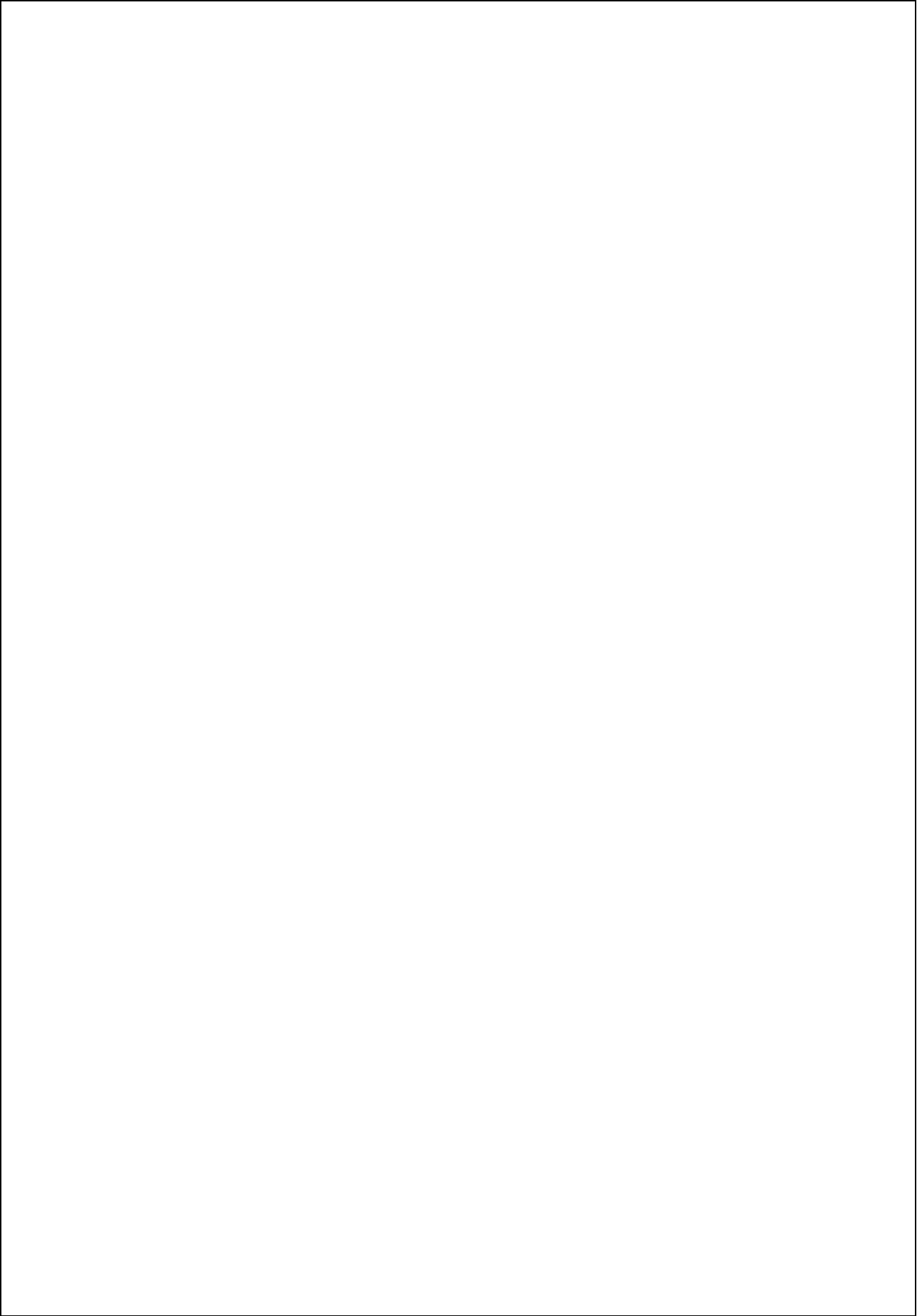
- ・障がい者および高齢者に向けて  
音声ガイドの追加をする



<https://www.irasutoya.com>

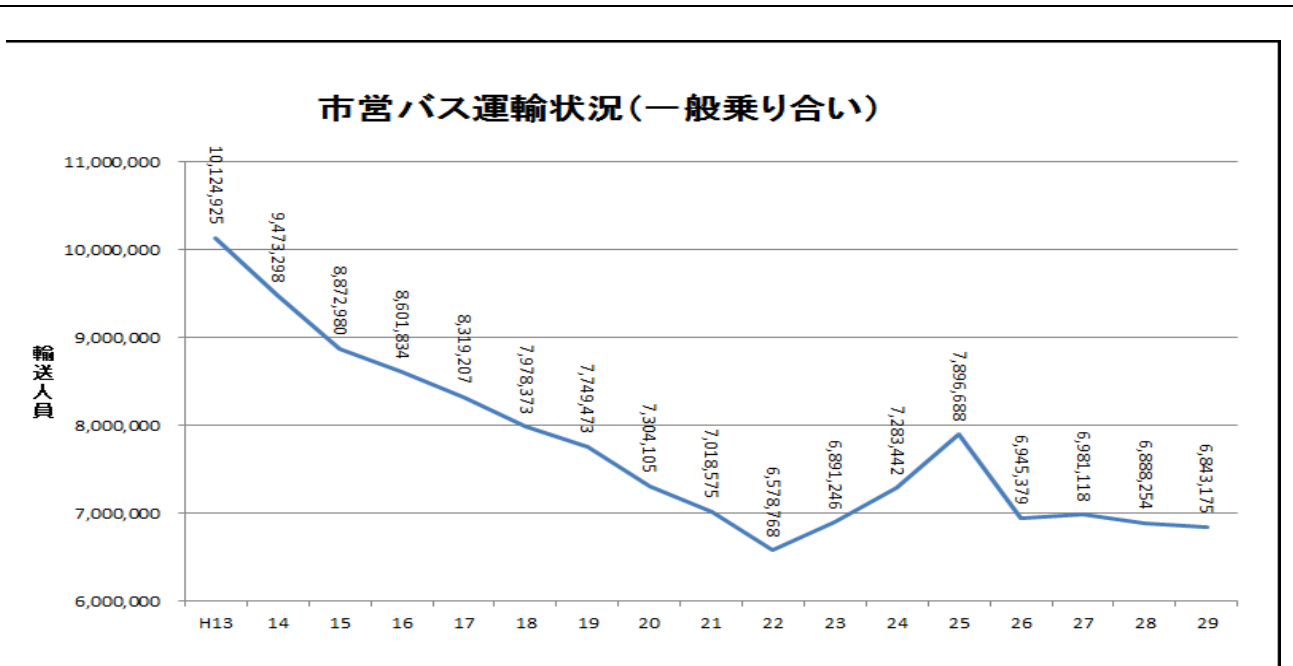
いらすとや引用

- ・その他  
子供たちや高齢の方でも使えるように、振り仮名や文字の拡大機能をつける。



## 2) アイデアの理由（公開）

このアイデアを提案する理由について、それをサポートするデータを根拠として示しつつ2ページ以内で説明してください。ここではアイデアの必要性、効果を確認します。データとは、統計類の数値データやアンケート・インタビューなどの資料や関連の計画、既存の施策などの定性データのことを総称します。データは出所を明らかにしてください。



<http://www.city.hachinohe.aomori.jp/index.cfm/8,108126,35,199,html>

八戸市統計情報～市営バス運送状況～引用

このグラフを見ると、バスの利用者が減少しているのがわかります。

バスの利用者が減少した主な理由として

- ・自動車保有台数の著しい増加（図1参照）

自家用車による通勤、通学（送迎）が主となる交通手段となった。



利用者の減少によって路線を縮小（行きたいときに行きたいところに行けない）



ますますバス利用者が減少する                      という悪循環に陥る。

≪私たちの話し合いで出された原因≫

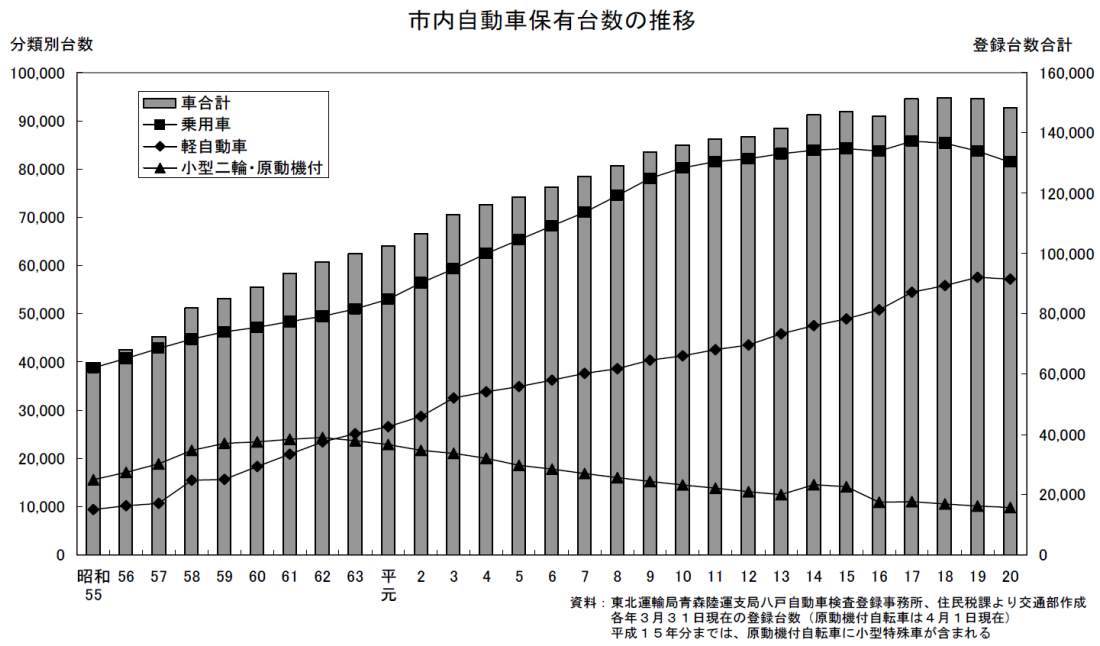
- ・少子・高齢化の進展
- ・私立学校自前バスの利用
- 自家用車に慣れて、バスの利用に不安を感じるようになったのではないか！？

などが挙げられました。

この不安を取り除くことでバスを気軽に利用できるようになるのではないかという考えに至りました。

そこで着目したのがバス停の存在です。

図 1



[https://www.city.hachinohe.aomori.jp/bus/gaiyo/keiei\\_kenzen.pdf](https://www.city.hachinohe.aomori.jp/bus/gaiyo/keiei_kenzen.pdf)

[八戸市営バス事業経営健全化計画 八戸市]引用





### (3) アイデア実現までの流れ（公開）

アイデアを実現する主体、アイデアの実現に必要な資源（ヒト、モノ、カネ）の大まかな規模とその現実的な調達方法、アイデアの実現にいたる時間軸を含むプロセス、実現の制度的制約がある場合にはその解決策等、アイデア実現までの大まかな流れについて、2 ページ以内でご記入ください。ここでは実現可能性を確認します。

アプリを作成するにあたり、私たちの考えに加え、どのような機能が追加されれば良いかを知るためにアンケート調査を行います。

<アンケート内容>

- ① どのような機能を追加すればより使おうと思うか
- ② バスを普段利用しますか？ {はい、いいえ→はいの場合③へ}
- ③ どのくらいの頻度で利用しますか？  
{・平日のみ、休日のみ、毎日、その他}
- ④ バスを間違ったことはありますか？





など…

⇒この結果をもとにアプリにどんな機能を追加すればいいのか検討し増やしていきます。

<アプリのプログラムについて>

・Android 講座、東北テック道場を通してプログラムの方法を学んで、制作していきます。

⇒完成後、アップロードし多くの人に使っていただけるように、PR（呼びかけ、SNS 等）します。

	国内月間アクティブユーザー	ユーザー層	特徴
	8,100 万人	全世代が利用 幅広い	・メッセージとタイムラインの二つをもつ ・スタンプが豊富 ・トークや通話などモバイル中心
	4,500 万人	20代が多い 平均年齢は35歳	・リアルタイム性 ・拡散性の期待 ・ハッシュタグ
	3,300 万人	10代と20代で半数以上を占める	・写真メイン ・世界観の重要性 ・アクティブユーザーが多い ・ハッシュタグフォロー可能
	2,600 万人	登録者数は20代と30代が多い	・多彩なコンテンツ ・フォーマルな場 ・ターゲットの精度高い

<https://blog.comnico.jp/we-love-social/sns-users>

[人気 SNS の国内 & 世界のユーザー数まとめ]引用

拡散性の期待という点から Twitter での呼びかけをしていきます。

⇒若者の使用率が高いため、多くのダウンロードが期待される…

